

宮崎大学医学部附属病院 脳神経外科 専門医養成プログラム

1. プログラムの概略・特徴

このプログラムは、卒後 7 年目に日本脳神経外科学会専門医を取得できる臨床能力を身につけることを目標としています。対象は、2 年間の初期研修を修了し、3 年目からの脳神経外科専門研修を目指す医師とします。下記の関連施設において、多彩な研修を行うことができるよう計画されています。関連施設はすべて脳神経外科学会が指定した訓練施設であり、研修は関連領域の専門・認定医資格を併せ持つ指導医により実施されます。従って、日本脳神経外科学会専門医に加え、各学会の指定する条件を満たすことで、脳神経外科関連の特殊領域の専門医資格取得も可能です。

さらに、本プログラムは、学位（医学博士）の取得や海外留学を推奨し支援します。関連施設の特色を生かし、一つの施設では経験困難な豊富で多彩な症例や知識・技術を修得できます。

2. 研修目標

【一般目標】

脳神経系外科医として必要なすべての領域を経験し、脳神経外科の知識手技を網羅的に身につけることを基本とし、最終的に日本脳神経外科学会が認定する脳神経外科専門医を取得することを目標とする。

【行動目標】

I. 概略

- 1) 患者とその背景に配慮し、脳神経外科医として疾患の治療・管理を行う。
- 2) 疾患の診断・治療を的確に行うことのできる知識と技術を習得する。
- 3) 最新・最良で安全な医療を行うため、脳神経外科およびその関連領域について、常に新しい知識を身につける習慣を養う。後進を指導する能力を身につける。

II. 具体的目標

- 1) 基本的手術手技を十分修得し、顕微鏡下手術をはじめとした脳神経外科手術を経験し、術者となる技量を蓄積する。シミュレーターも積極的に活用する。
- 2) 神経学的診察・神経生理学検査・神経放射線診断・病理組織学診断などを正確に行い確定診断に到達する技量を習得する。
- 3) 主な疾患に関し周術期管理を行い、呼吸循環系を中心とした合併症に対応することができる。
- 4) 救命救急処置を行い、緊急手術を含めた治療計画の立案ができる。
- 5) 脳神経外科疾患について初期研修医に指導することができる。
- 6) 臨床研究の成果を国内主要学会あるいは国際学会にて発表する。
- 7) 講演会、カンファレンスに参加する。

III. 標準的到達目標

1) 入局 1-2 年目（卒後 3-4 年目）

標準的脳神経外科医としての基礎固めを行う。病棟では主治医となり、病棟医長や指導医のもとに入院患者の診断、検査、術前術後管理を行う。手術においては原則として主治医が第一助手となり、直接手術の介助を行い、各種手術機器の取扱いに習熟する。また指導医の指導のもとに穿頭手術（慢性硬膜下血腫

除去や脳室外ドレナージなど) や脳室腹腔シャント手術などが執刀出来るようになることを目標とする。また、脳血管造影のカテーテル操作が出来るようになることを目標とする。希望により、他科(麻酔科など)の研修ローテーションも組み入れることができる。

2) 入局3・4年目(卒後5・6年目)

指導医の指導のもとに開頭手術(脳内血腫除去、脳腫瘍摘出、浅在性脳動脈瘤クリッピングなど)の執刀を行う。また、より専門的な手術(脳血管内治療、脊髄・脊椎疾患手術、脳深部刺激術、てんかん、小児脳神経外科)の訓練も開始する。

これらの研修を通じて日本脳神経外科学会専門医および特殊領域専門医の資格を得る準備を行う。

3) 入局5年目(卒後7年目)以降

専門医資格を取得した後は、更なる臨床能力の向上を目指し、より困難な手術(頭蓋底手術、脳動静脈奇形摘出、深部脳動脈瘤クリッピングなど)が出来るようになることを目標とする。さらに脳神経外科の中における自分の専門分野(subspeciality)を設定できるようになる。さらに希望により、国内外留学による更なる臨床能力の向上、および大学院への進学や臨床・基礎研究により医学博士の学位取得ができる。

3. 研修スケジュール

研修施設の選択は基本的に本人の希望を可能な限り優先します。

(例)

	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
A	大学病院	関連施設	大学病院	関連施設	専門医	留学		
B	大学病院	大学病院	関連施設	大学病院	専門医	関連施設		
C	大学病院	大学院			専門医	関連施設		
D	大学院			大学病院	専門医	関連施設		

4. 評価

1) 各年度終了時に、上記項目中の必修項目について評価を行う。

【評価法】 A : 目標を80%以上達成した

B : 目標を50-80%達成した

C : 目標の50%未満しか達成できなかつた

D : 研修できなかつた の4段階評価

2) 同時に、必須項目について指導医から4段階評価を受ける。

3) 研修医からみた指導医の指導内容についても各年度終了時に評価し、1年間の研修内容を総括し自由に意見を述べることができる。

【評価法】 A : よく指導してくれた

B : 一部指導に不満あり

C : かなり指導に不満あり

D : 指導医として不適格 の4段階評価

この評価結果は指導医全員で討議し、指導医・研修医それぞれについて毎年検討する。必要がある場合は次年度の指導方法・研修内容を見直す。

- 4) 日本脳神経外科学会専門医試験資格を十分満たす研修内容を修得した上で、専門医試験を受験する。

5. 募集人員 制限無し

6. 実施責任者 宮崎大学 医学部 臨床神経学講座 脳神経外科学分野 教授 竹島 秀雄

7. 指導責任者 宮崎大学 医学部 臨床神経学講座 脳神経外科学分野 准教授 上原 久生

8. 関連施設、学会認定状況

研修病院（関連病院）	指導医	特徴的専門領域	関連領域専門・認定医資格
池田病院	池田 徳郎	脳血管障害、外傷	脳神経外科専門医
金丸脳神経外科病院	奥 隆充	脳血管障害、外傷	脳神経外科専門医、脊髄外科認定医
西都児湯医療センター	濱砂 亮一	脳血管障害、外傷	脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医、脊髄外科認定医
潤和会記念病院	吳屋 朝和	脳神経外科全般	脳神経外科専門医、脊髄外科指導医
都城市郡医師会病院	大田 元	脳血管障害、外傷	脳神経外科専門医、脳血管内治療指導医、脳卒中専門医
宮崎県立日南病院	杉本 哲朗	脳神経外科全般	脳神経外科専門医、脳血管内治療専門医
宮崎県立宮崎病院	米山 匠	脳神経外科全般	脳神経外科専門医
和田病院	内之倉 俊朗	脳血管障害、外傷	脳神経外科専門医

9. その他

専門医修得後の進路及び大学院進学、海外留学など

専門医取得後の進路については、個々の希望に配慮しながら、個別に対応する。

本プログラムは、学位（医学博士）の取得や海外留学を推奨し支援する。すなわち、脳神経外科専門研修を受けながら、同時に学位取得のための大学院進学・履修が可能である。臨床的あるいは基礎的テーマを選択するかにより、個別の進学・履修コースを設定する。また、大学院在学中に海外留学も可能である。その際、専門研修プログラムの変更・延長が可能である。

日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、日本脊髄外科学会脊髄外科認定医、日本脳神経血管内治療学会専門医、日本神経内視鏡学会技術認定医などの資格が取得できます。

10. 連絡先

宮崎大学医学部脳神経外科教室 上原 久生(うえはらひさお)

〒889-1692 宮崎県宮崎市清武町木原 5200

TEL : 0985-85-3128

E-mail : huehara@med.miyazaki-u.ac.jp